

## 中酪情報 No.519

2009年1月31日発行

毎号奇数月末発行

発行：社団法人 中央酪農会議

編集・発行人：前田浩史

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル7F

TEL：03-3245-7621(代) FAX：03-3242-2423

ご意見・ご感想をお寄せください。

読者の皆さまにもっと本誌をご活用いただきたく、より良い誌面作りに向けて努力してまいります。本誌へのご意見やご要望、ご感想がございましたら、電話・FAX・ホームページにて下記の「中酪情報」編集部までお寄せください。皆様のご意見・ご感想をお待ちしております。

## 宛先及びお問合せ先

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-8-3 JAビル7F

社団法人 中央酪農会議「中酪情報」編集部

TEL：03-3245-7621(代) FAX：03-3242-2423

<http://www.dairy.co.jp/>

(中酪HP「お問い合わせ」ページよりアクセスできます)

## 編集後記

昨今の食料価格高騰に起因する国際的な混乱は、一部の発展途上国では暴動にまで発展した。本号のリレーコラムでは、京都大学大学院の久野秀二先生にその要因と国際社会の対応が内包する諸問題を明らかにしていただいた。つまり、国際社会が食料危機打開に向けて提起する自由貿易の拡大と農業生産力の増大という2つの道に関して、その問題点が提示された。同時に、このいわゆる「市場主義・生産力主義」に替えて、「食料主権・農民主権」という新たな視点から食料危機打開の道を探ることの優位性が示唆された。

そのような視点は、途上国農業の開発だけではなく、日本農業の方向性を考える上でも有益であるという。ところで、低迷する乳価と高騰する飼料価格との板挟みにあった酪農経営の窮状を理解し、不当にもうけている人はいないかと、牛乳や乳製品に支払われたお金の配分方法まで心配する消費者がどれほどいるだろうか。脆弱化したわが国の酪農生産基盤の再建に配慮した消費者の購買行動に期待したい。

「安さだけで買うな－生産者など応援しよう」（日本経済新聞、2009.1.12朝刊）とは、昨年話題になった映画『おくりびと』の脚本を手掛けた小山薫堂（こやま・くんどう）氏の提言である。同氏によると、お金は欲しいものを手に入れるだけではなく、応援したい生産者などに拍手を送るために使うものだそう。さらに、異常に安い商品があったら、消費者には「なぜ安いのか」と考える責任があり、生産者等に圧力をかけて安く仕入れているのであれば、買うのをやめたほうがいいとも言う。